

NPO日本水循環  
文化研究協会

# 台灣訪問 日程案

2024.12.09(月)



2024.12.12(木)



# DAY1 | 12/9 (月) 日本から台湾 (参考用)

① 各自でチケット手配

07:55~11:05 (CI223)  
羽田空港~台北松山空港

② 華信旅行

鄧が代理手配可能

12:55~15:05 (BR191)  
羽田空港→台北松山空港

# DAY2 | 12/10 ( 火 )

午前中

台北水道局へ表敬訪問

台北自來水博物館見学 ( バルトン先生銅像参拝 )

午後

台南へ移動

奇美博物館見学

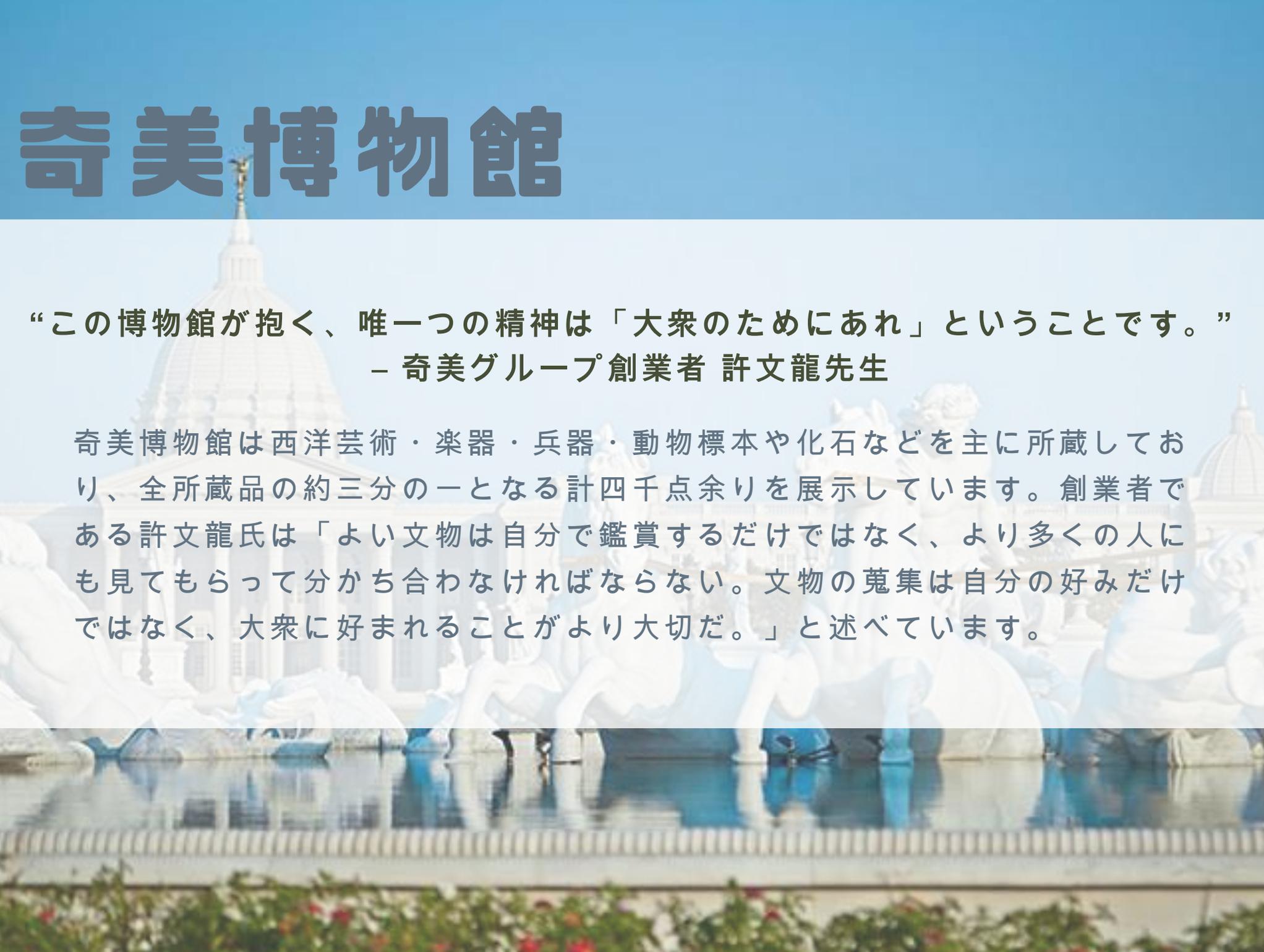
# 自來水博物館の誕生

- 1887年、台湾の衛生状況が悪化し、日本人は台北で改善作業を開始し、それには公共の井戸を掘ることも含まれています。
- 1896年、後藤新平が台湾総督府の衛生顧問に就任し、イギリス人のウィリアム・K・バートンを台湾に招聘して衛生工学の改善に協力するよう提案しました。これには水源調査も含まれます。
- 1907年、バートンの提案に基づき、新店溪谷に取水口を設け、浄水処理を行い、住民の日常用水を供給しました。
- 1977年、唧筒室の任務が完了した後、自來水事業は1998年に唧筒室の原形を復元し、全国初の自來水博物館を設立し、自來水の歴史を展示しました。



ウィリアム・K・バートン

# 奇美博物館



“この博物館が抱く、唯一つの精神は「大衆のためにあれ」ということです。”  
– 奇美グループ創業者 許文龍先生

奇美博物館は西洋芸術・楽器・兵器・動物標本や化石などを主に所蔵しており、全所蔵品の約三分の一となる計四千点余りを展示しています。創業者である許文龍氏は「よい文物は自分で鑑賞するだけではなく、より多くの人にも見てもらって分かち合わなければならない。文物の蒐集は自分の好みだけではなく、大衆に好まれることがより大切だ。」と述べています。

# DAY3 | 12/11 (水)

午前中

台南水上花園水道記念館

(濱野弥四郎銅像参拝)



午後

八田與一紀念園區 (台南)

旺來山鳳梨文化中心 (嘉義)



山上の水道の伝説

# 台南水上花園水道 記念館

清潔な生活用水を提供し、衛生環境を改善するため、1897年、台湾総督府の衛生工学顧問であるウィリアム・K・バートン（W.K. Burton）と彼の学生兼助手である浜野弥四郎が台南地域の水源と水質を調査しました。1912年に台南水道の建設を開始し、台南市内の生活用水を重力流水方式で供給するために工事が行われ、工期は10年間で、1922年に完成しました。1982年には、ウーシャントウ貯水池、ツェンウェン貯水池、およびタンディン浄水場が相次いで完成し、使命を果たしました。これにより、日本統治時代の衛生工学の現代化の発展過程が証明されました。



浜野弥四郎

# 八田與一 紀念園區

八田與一記念園區は、嘉南大圳の建設者である八田与一氏を記念して設立されました。

八田與一氏は「嘉南大圳の父」とも呼ばれ、1910年に台湾南部に到来し、烏山頭水庫と嘉南大圳の長い探検作業に身を投じました。

また、八田の家具配置は当時のままであり、まるでタイムトンネルを歩いているかのような感覚を味わいます。庭園は小橋と流水の景色があり、その中の池の造景は台湾の形をしており、そこから八田與一氏の台湾への深い情熱が伝わってきます。



八田與一

「台湾には阿里山があり、嘉義には旺来山があります。」

# 旺来山鳳梨文化中心

創設者の劉薬師は、「パイナップルの価値は、単なる果物にとどまりません！」と確信し、専門チームを結成し、パイナップルの栄養価を研究し、食品、日用品、健康製品など多様な商品を創造しました。民雄で生産されたパイナップルをテーマにして、パイナップルを生鮮果物、果皮、パイナップル茎などの一連の農産物に展開し、パイナップルの全体を有効活用し、農作物の保存期間を延長し、農作物の廃棄物を減らし、農産物の価値を向上させ、パイナップル農家の収入を増やしています。その中で、金牌パイナップル酢は2年連続で金賞を受賞しています！



『旺来山』の名前の由来は、台湾語でパイナップルを意味する「旺来」（ワンライ）と命名されました。

# DAY4 | 12/12 (木)

午前中

## 台北市内観光

中正紀念堂、龍山寺

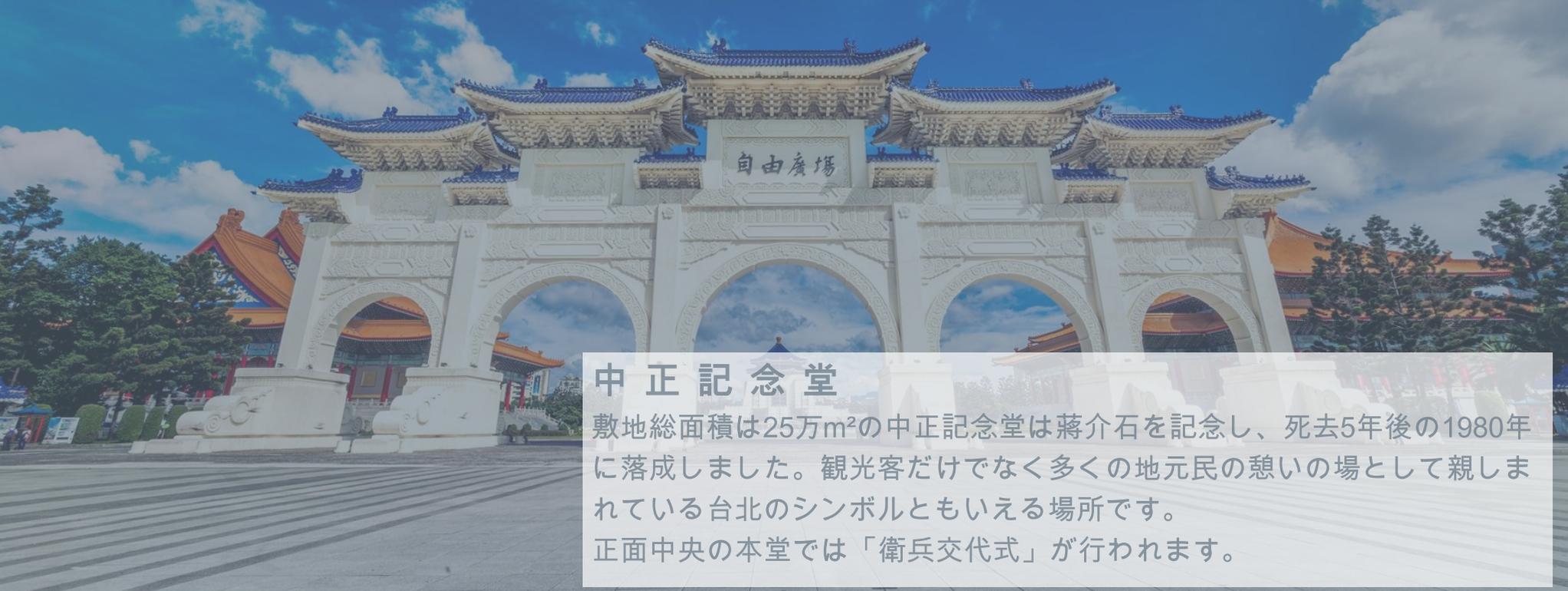
午後-台湾から日本へ (参考用)

① 18:25~22:05 (CI222)

台北松山空港~羽田空港

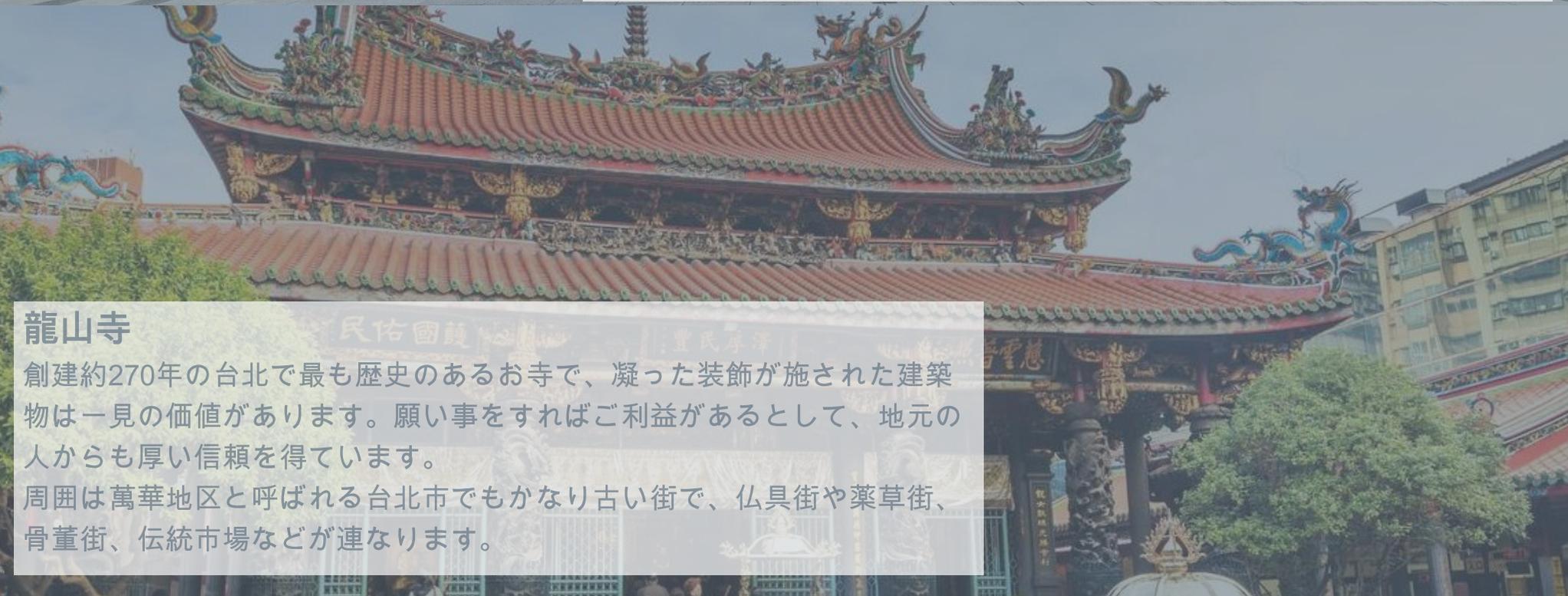
② 16:25~20:15 (BR190)

台北松山空港→羽田空港



## 中正記念堂

敷地総面積は25万m<sup>2</sup>の中正記念堂は蔣介石を記念し、死去5年後の1980年に落成しました。観光客だけでなく多くの地元民の憩いの場として親しまれている台北のシンボルともいえる場所です。正面中央の本堂では「衛兵交代式」が行われます。



## 龍山寺

創建約270年の台北で最も歴史のあるお寺で、凝った装飾が施された建築物は一見の価値があります。願い事をすればご利益があるとして、地元の人からも厚い信頼を得ています。

周囲は萬華地区と呼ばれる台北市でもかなり古い街で、仏具街や薬草街、骨董街、伝統市場などが連なります。



2024年NPO日本水循環文化研究協会  
台灣訪問日程案

**THANKS FOR LISTENING**

東和株式会社